

主な学校行事

大池小学校	小中連携行事
4月 入学式、国際クラブ・国際理解学級始業式	
5月 校外学習	中学校部活動体験交流
6月 運動会	中学校体育大会交流
7月	
8月	
9月 おおいけフェスティバル	小学校にて職場体験学習
10月 校外学習、5年自然教室、図工作品展、6年修学旅行	中学校合唱コンクール交流
11月 国際クラブ・国際理解学級発表会	中学校授業体験入学
12月	小中学生交流授業（学年随時）
1月	
2月 国際クラブ・国際理解学級修了式	児童会生徒会交流会
3月 卒業式	

小中一貫校 大池学園はユネスコスクール^(※)の認定校です！（2025年度・認定）

※ユネスコスクールとは、ユネスコの理念を学校教育に生かし、平和や人権、国際理解、環境問題、地域の文化などについて学ぶ学校です。世界や地域の課題を自分たちのこととして考え、持続可能な社会をつくる力を持つ子どもたちを育てることをめざしています。

- 教育目標

「たくましく未来を切り開く心豊かな子どもの育成」
- めざす児童生徒像

「国際社会の一員として、自ら考え主体的に行動する児童生徒」

- 小中一貫教育実践の創造

連携型小中一貫校の強みを活かした取り組み（大池学園プラン）
- 9年間を見通した「学び」や「育ち」を大切にしたい教育を行います。
 - 小中学校共通の目標を掲げ、児童生徒の交流を軸として、「部活動体験」「授業体験」のほか、中学校教員による小学生向け授業も行います。

- 【大池生活プラン】**
- 適切なあいさつや言葉使いの徹底
 - 清掃活動の充実
 - 時間を守る意識の向上
 - 人の話を聞く、考えを話す態度育成

- 【大池学習プラン】**
- 学習の基本の徹底
 - 学習のスキル向上

連携型 小中一貫教育

- 【大池多文化共生プラン】**
- 国際理解教育の拡充
 - 国際クラブ活動の充実
 - 地域学習

校長先生のメッセージ（大池小学校）

学校重点目標の4つの柱の1つである、多文化共生教育の充実、本校教育活動の大きな特色の1つです。国際理解の取組や民族学級（国際クラブ）、熊猫班級（中国学級）、ホフセン学級（ベトナム学級）の取組、地域について学ぶ取組、韓国・朝鮮、中国をはじめ世界の国々の文化について触れたり学んだりできる取組などを進めています。

これらの取組は、「全ての子どもたち一人一人のルーツやアイデンティティを大切にしたい」との思いから端を発しています。名前の由来や生い立ち、家族や親せき、祖先や縁のある土地や建物、故郷や母国といったものについて知ることは、生きていくためにとても重要なことだと考えます。一人一人の子どもたちが、しっかりと自分の「ルーツ」について知り、その意味やつながりを学んでいくことは、自分を大切にすること、そして友だちのことやルーツを大切に考えることにもつながっていきます。「子どもたち一人一人のルーツを大切にすること」で、子ども同士のつながりを深められる学校をめざしていきます。

校長先生のメッセージ（大池中学校）

大池中学校は昭和22（1947）年に生野第一中学校として開校し、令和4年度から大池小学校との施設連携型小中一貫校として開校しました。

中学校としましては、本年度第82期生の新入生を迎え「人を大切にする心の大きさ」を誇れる学校という目標を目指して、全教職員が一丸となり教育活動を行っています。

「ユネスコスクール」としての学校教育方針を柱として小学校と中学校とが授業や部活動、そして行事で連携を行うだけでなく、教員のつながりも大切にしながら、児童と生徒が学年単位でも交流を深められるよう取り組みながら小中一貫教育を進めています。

すべての子どもが安心して学べる教育環境とともに、地域の誇りとなる学校運営をめざして努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

多文化共生教育の充実

- 国際理解を柱とした、多文化共生教育を行っています。
- 韓国、朝鮮や中国をはじめとした、多くの外国にルーツのある児童生徒のアイデンティティを高めるため、地域の歴史を学び、グローバルな協調性を持つ子どもたちを育てています。
- 小学校では地域にある、外国に関連したお店を訪問するなど調べ学習を行っています。
- 中学校では韓国などの外国の中学生と交流する取組を行っています。
- 大池学園は、国際的な視野に立ち、違いを認め合える集団作りに取り組んでいます。

大池多文化共生プラン



英語教育の充実

- 毎週、中学校英語教員が小学校を訪問して、小学生に英語を教えています。
- 小学5年から英検ジュニアを、中学校では、自分の目指すレベルの英検を校内で受検します。

大池多文化共生プラン・学習プラン



確かな学力の向上に向けて

- 支えあい高めあう集団作りを行うとともに、落ち着いた学習に集中できる環境づくりに取り組んでいます。
- 「学習スキル」として、相手を意識した話し方、読み方、見やすく分かりやすいノートづくりと、「家庭学習」における自学自習の習慣を身につけて「学習に向かう姿勢」を大切にします。

学校図書館の有効活用など（読書活動）

大池学習プラン

- 小学校には「行きたくなる図書館」「本を読みたくなる図書館」をコンセプトとした図書館があります。
- さらに、各教室や廊下にも本棚があり、本に囲まれた日常を当たり前と思うよう、また、読書量が増えるような工夫を行っています。
- 地域の皆さまに協力いただき、外国につながる児童生徒向けの本も揃えています。

重点目標

- 英語教育の充実
- 多文化共生教育の充実
- 学力・体力の向上
- 小中一貫教育実践の創造



小中一貫校としての取り組み

小・中学生の交流学習

小中一貫校のメリットを活かした小中交流

- 中学生と小学生が一緒になる時間を設けることで、中学生は「頼れるお兄さん、お姉さん」として遊びを教えたり困りごとの相談に乗る、といった取り組みを行っています。
- 中学生にとっては、教えたり頼られたりすることで、責任感、自己有用感を身に着けることができ、小学生側は、人から学ぶ姿勢を覚えたり、いずれ自分もあなりたい、と感じたりすることができる内容となっています。



小学生が中学生体験

- 高学年になると、年2回、中学校で中学生体験をします。
- 6月に部活動を中学生と体験し、11月に中学校の授業を体験します。





大阪市立

大池小学校

校長名 | 小椋 健司

所在地 | 生野区中川3-4-3

電話番号 | 06-6753-1822

FAX番号 | 06-6753-1857



通学区域外(校区外)からの
受入可能人数(目安) 10人未満、若干名

学校公開日※ 10月7日(水)13:50～14:35

学校説明会※ 10月7日(水)14:45～15:15

※学校見学および学校説明会は学校選択の参考にご活用いただくもので、参加は任意です。なお、入学直前に開催する入学説明会とは別のものですのでご注意ください。



大阪市立

大池中学校

校長名 | 前田 善久

所在地 | 生野区中川6-3-6

電話番号 | 06-6752-3451

FAX番号 | 06-6751-9581



通学区域外(校区外)からの
受入可能人数(目安) 40人以上

学校公開日※ 9月24日(木)9:00～15:00
9月25日(金)9:00～15:00

学校説明会※ 9月24日(木)15:00～15:30
9月25日(金)15:00～15:30

※学校見学および学校説明会は学校選択の参考にご活用いただくもので、参加は任意です。なお、入学直前に開催する入学説明会とは別のものですのでご注意ください。



標準服



教育目標・重点目標・校訓・めざす子ども像

教育目標

たくましく未来を切り拓く 心豊かな子どもの育成

めざす子ども像

◎国際社会の一員として、自ら考え主体的に行動する子ども

- 自己のアイデンティティを持った子ども
(自分を知る、仲間を知る)
- グローバルな協調性を持った子ども
(挨拶ができる、自分を大切にできる、仲間を大切にできる)
- 未来を切り拓くための学力を持った子ども
(主体的・対話的学び、社会とのつながりを考える学び)
- コミュニケーション力、英語力、ICT活用力を持った子ども
- 未来を切り拓くための体力、体力向上の意識を持った子ども
(日常的な運動習慣、体力を高めようとする姿勢)

運営に関する計画

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする
- 「小学校学力経年調査」における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を83%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を85%以上にする。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値 全国・大阪市の調査結果については、12ページをご覧ください。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	17.13	20.00	33.08	35.42	42.13	9.81	147.58	21.83	50.71
女子	16.59	19.23	36.05	37.64	32.77	10.24	139.50	12.32	51.90

結果概要

総合的に見たところ、男女いずれも合計得点が国、市平均を若干、下回りました。特に、男女ともに「20mシャトルラン」の数値が低く、合計得点を下げる一因となりました。
「運動やスポーツが好き」とアンケートで回答した児童の割合は、男子88%・女子86%と比較的高い結果となりました。
一方で、女子の1/4が授業時間外に運動する時間は60分未満という結果となっており、普段の運動習慣に課題が見られました。

令和7年度全国学力・学習状況調査

全国・大阪市の調査結果については、12ページをご覧ください。

平均正答率 (%)	国語	算数	理科
結果概要	62	50	50

結果概要

【共通】

- 平均正答率では、いずれの教科も全国平均と大阪市平均を下回りました。

【国語】

- 情報の中から大事なことを見抜き、自分で整理して、人に伝えるといった点は、国、市平均を上回りました。しかしながら、文章全体の構成を捉えて、要旨を把握することや目的に応じて必要な情報を見つける力には課題がみられました。

【算数】

- 分数の足し算に関する理解では国、市平均を上回りましたが、「図形」や「目盛りを使った測定」といった点では、国、市平均と開きが見られました。
- 数量の関係を式に表すことに関する理解が不十分であることがわかりました。

【理科】

- 電気に関する理解は国、市と同水準でしたが、水温や、水が気体や氷になる、体積が変わるといった点では国、市平均と開きが見られました。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

【共通】基礎、基本や知識が身につくよう、毎週3回、短時間で行う反復学習の時間を設定し、プリントやデジタルドリルを活用した取り組みを行っています。特に国語、算数では、理解度に応じた個別指導、グループ指導など、力を入れた取り組みを行っています。

【国語】文章の意味や内容を理解したり、目的や意図に応じて正しく文章を書くことができるよう「書くこと」に重点を置いた授業を充実させていきます。また、国語力の向上に向け、「文章にまとめる」「言葉で説明する」「できる限り漢字を使って表現する」「ペアやグループになって話し合いをする」といった取り組みを、国語以外の教科でも意識的に実践させていきます。

【算数】基礎、基本の習得に重点を置いた授業展開を行っています。また、児童の理解度に応じた「ヒントカード」を用いるなど、工夫をこらした指導も行っています。

引き続き、数学的な考え方や数量・図形についての知識、理解を確実に定着させたり活用する力を育てていきます。

【理科】実験や観察などの体験的な活動を基本としつつ、科学的な探求や、問題点の発見とその解決を通じて関係性や規則性を、日常生活と結びつけて考えたり理解したりすることができる授業を進めています。

標準服

Aタイプ

令和3年度より
ブレザーを男女統一
しました。



Bタイプ

教育目標・重点目標・校訓・めざす生徒像

教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、国際社会の一員として、個性を生かし、自ら学ぶ態度と心豊かにたくましく生きる力を育む教育を推進する。

校訓 心美しく 誇り高く 遅しく

令和7年度全国学力・学習状況調査

全国・大阪市の調査結果については、32ページをご覧ください。

国語・数学：平均正答率 (%)、理科：平均IRTスコア

国語	数学	理科
47	36	454

結果概要

【国語】国、市と比較したところ「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域で正答率が低い結果であったが、特に言葉に関する知識や言葉の正しい使い方に課題がみられました。しかし、「読むこと」に関しては、改善傾向がみられました。
【数学】国、市と比較したところ、「数と式」「図形」の分野で正答率が低い傾向となりました。特に、出題を理解して説明や証明するなど筋道を立てて解答を導く力に大きな課題がみられました。しかし、無回答数、平均正答率ともに改善し、特に無回答数は昨年度から大きく低下しており、粘り強く問題に向き合う姿勢の一層の改善がみられました。
【理科】国、市と比較したところ、記述式の問題で正答率が低い課題もみられました。しかし、元素記号などの知識及び技能を問う分野では、国、市を上回る結果となりました。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

引き続き、基礎、基本の学力の定着を進めます。また、生徒が理解しやすいよう、視覚的な効果を見込めるICT機器を積極的に活用するなど「わかる授業」をより一層、展開していきます。

【国語】漢字の書き取りや文法を丁寧に指導し「書く」力を高めていくとともに「話す・聞く」といった分野については、生徒同士がペアになって「話し、聞く」といった環境づくりを行っています。

【数学】計算の反復練習の回数を増やし、基礎学力の定着を図ります。また、理解度にあわせて少人数に分けた授業を行うことで、一人一人の学力を高める授業を行います。

【理科】ICT機器を効果的に使うとともに、実験などを実施することで、分かりやすく確かな学力に結びつく授業を展開します。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値 全国・大阪市の調査結果については、32ページをご覧ください。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計得点
男子	30.24	29.43	37.96	52.91	86.09	7.74	201.45	18.30	42.57
女子	22.85	21.39	45.24	45.52	47.88	8.99	156.56	12.11	45.72

結果概要

体力合計点において、男子は国平均を上回り、大きく向上しました。女子は国平均に迫る結果となりました。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

<成果と課題>授業や部活動の成果から男子は国平均を超え、女子も国平均に近い結果となりました。これは生徒の授業や部活動への積極的な参加が大きく影響しています。しかしながらアンケートからは近年、「運動時間の減少」の傾向が強まっていることがうかがえる結果となりました。
<アクションプラン>「運動時間の減少」の傾向により、生徒の体力が低下していくこととならないよう授業や体育大会、駅伝大会などの体育的教育活動の工夫、改善に取り組み、体力全体の向上を効果的に図っていきます。

小中一貫校

大池学園

田島南小中貫校
義務教育学校生野未来学園